

湘北社協 25 周年記念刊行

# 湘北地区の 地域福祉活動



2012 年 1 月発行

湘北地区社会福祉協議会

# 目 次

## 地域の福祉活動紹介冊子の発行にあたって

湘北地区社会福祉協議会 会長 青木有俱

## 湘北地区の福祉活動

- 香川「おたのしみ会」 . . . . . P 2
- 香川「にこにこサークル」 . . . . . P 3
- 甘沼「ふれあいの会」 . . . . . P 4
- 甘沼子育てサロン「スイートポテト」 . . . . . P 5
- 甘沼「サロンの会」 . . . . . P 6
- 鶴が台「すこやかサロン」 . . . . . P 7
- 鶴が台「“わを広げよう” たんぽぽの会」 . . . . . P 8
- 松風台「松の実会」 . . . . . P 9
- 松風台「ほっとサロン」 . . . . . P10
- 松風台「歌の街」 . . . . . P11
- 松風台子育てサロン「まつぼっくり」 . . . . . P12
- つるいち「ほほえみサロン」 . . . . . P13
- みずき「カフェ・みずき」 . . . . . P14
- みずき「みずきッズ」 . . . . . P15
- 湘北「E ラウンジ」 . . . . . P16
- ボランティア香川 . . . . . P17
- 湘北「とものわ」 . . . . . P18
- 湘北「ひまわりの会・水曜サロン」 . . . . . P19
- 湘北「きらきらぼし」 . . . . . P20
- 湘北地区ボランティアセンター
  - コミュニティーサロン . . . . . P22
  - 福祉なんでも相談 . . . . . P23

25周年記念

## 地域の福祉活動紹介冊子の発行にあたって

湘北地区社会福祉協議会  
会長 青木 有俱

湘北地区社会福祉協議会は1986年7月に発足し、今年度は満25年の節目の年を迎えております。この間の活動を振り返り、今後の展望を語り、見いだして行くことを願いこの記念イベントを実施することになりました。

その一環として、湘北地区社協活動の大きな特徴である、自治会地域単位など小地域での活動をこの冊子で紹介するものです。茅ヶ崎市は地域のサロンやミニデイ活動が活発といわれ、市社協の調査では市内に60団体以上あり、他市からも視察や見学に来訪されることが多くあります。湘北地区には約20団体があり、市内の活動の三分の一近くを占めています。

住みよい地域のためには、このような活動がますます重要になってくると思います。湘北に相応しい地域福祉活動が更に発展することを願い、この小冊子がそれに少しでも役立てれば幸いです。

# 香川社会福祉協議会

ミニデサービス 《おたのしみ会》を紹介いたします。

## ※概要

● **会 結 成 年** 平成 05 年 06 月

「託老の集い」を地区毎に実地することになり初めは年2～3回の開催でしたが、現在は独居高齢者(70歳以上)の方を対象とするも、昼間ひとり暮らし等、特別の事情ある方も参加いただいております。現在会員は30名ボランティア 20 名の 50 名位です

偶数月の第3月曜日(8月は第4月曜日)に香川自治会館で午前10時～14時頃まで開催しております。

● **活 動 内 容** 当日は市保健師さん、地域包括支援センター(あかね)看護師さんによる血圧測定、健康に関するお話、香川小学校5年生ニ学芸会等世帯間交流、手芸折り紙等、他各種団体による(日舞・フラダンス・吹奏学部演奏(北陽中学校)・マジック・人形劇・お話し・劇・ビンゴゲーム等)です。開催の都度食事代の一部として400円の会費をいただき、茶菓子昼食を共にして老化防止に努め皆さんと交流を持ちながら活動をしています。又、定期的に役員会を開催し、次回の(おたのしみ会)のテーマを決めています。

①自治会長より推薦され行政より委託された民生委員児童委員やその他の構成員から香川社会福祉協議会は成り立っている。

②香川社会福祉協議会は70才以上の独居高齢者、特別事情ある方を対象としたデイサービス、おたのしみ会と、子育てサロンにここにこサークルを定期的開催。

③香川社会福祉協議会は構成員の中から2名をコーディネーターとして湘北ボランティアセンターに派遣している。

④コーディネーターを派遣することによりテリトリーの違う利用者の要望は即ネット内の他のボランティアグループにつなぐ。

⑤寿会5つの「老人クラブ」は安否確認や見守りを行っている。

⑥民生委員などは常日頃見守りを行い、SOSの吸収、ニーズの掘り起こしを行っている。

(災害弱者マップ、個別援助票)

現在の活動状況 23年度の香川おたのしみ会の実践を報告紹介いたします。

活 動 月	内 容
2 月	血圧測定、健康に関するお話し、余興(香川小学校6年5組児童の演劇)
4 月	血圧測定、健康に関するお話し、手芸(クラフトテープ利用しての干支人形)、余興(昔話し)
6 月	血圧測定、健康に関するお話し、手芸(割り箸を利用しての飾り物)、余興(フラダンス)
8 月	血圧測定、健康に関するお話し、余興(北陽中学校吹奏楽部の演奏、楽器紹介)
10 月	血圧測定、健康に関するお話し、手芸(色紙による4羽鶴連折の飾り)、余興(マジックショウ)
12 月	血圧測定、健康に関するお話し、余興(毎年恒例のビンゴゲーム)

※弁当は味噌汁付きお菓子セットで毎回美味しいと評判が良くスタッフの方々も嬉しく準備しております。



スタッフの皆さん

上記のように毎回、前回の内容を報告し皆さんに楽しんでもらっています。

## 香川社会福祉協議会 「子育てサロン」 にこにこサークル 紹介

平成22年10月に香川社会福祉協議会の「子育てサロン」として立ち上げました。

子育て中のお母さん同士や地域の方とのコミュニケーションの場として、香川自治会館の第一会議室において、毎月第一、第三、第四金曜日の午前10時から午後3時までフリースペースを開催しています。

毎回ボランティアスタッフを配置し、子育ての情報交換や悩み相談、ストレス解消のお役に立っています。

また、時々お楽しみ会や子育てに関するイベントを開催しています。去年は「ベビーサイン」「クリスマス会」を開催しました。

「にこにこサークル」の存在を知っていただけるように、地域のイベントにも積極的に参加しています。去年は「茅ヶ崎サポートセンターまつり」「香川ふれあいまつり」「香川自治会館まつり」「茅ヶ崎ふれあいまつり」に参加させていただきました。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 甘沼ふれあいの会

甘沼ふれあいの会は今から 17 年前にスタートしました。それまで湘北地区社協で行なわれていた集いが自治会単位に開催されるようになりました。

活動の日時： 毎月第二月曜日  
活動場所： 甘沼自治会館  
活動対象： 独居の方、高齢者、身体に障害のある方  
会 費： 300円

### ——— 当日のスケジュール ———

9. 30～10. 00	お茶
10. 00～11. 30	手芸工作、ゲーム、頭の体操、 運動会、季節の行事、など
11. 40～11. 55	茅ヶ崎体操、口腔体操
12. 00～13. 00	お食事、おしゃべり
13. 00～14. 00	歌、ゲーム、誕生会、など

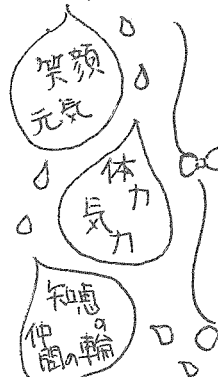
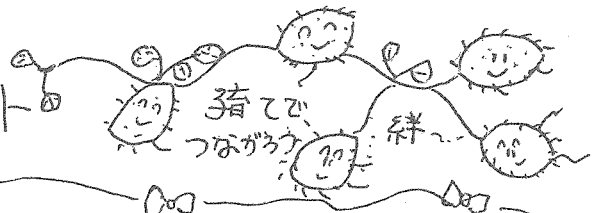






# 甘沼子育てサロン

## スウィートポテト



甘沼子育てサロンは、平成21年8月に「設立に向けての準備会」を甘沼自治会館で開催し、その後地域の方々、自治会、甘沼社協等々、沢山の  
 方々の援助と支援、応援の中、発足しました。第1回定例会は、平成21年  
 10月7日(水)9時30分～15時30分、甘沼自治会館、スワ7ボランティア15名でスタートしま  
 した。平成22年3月の定例会まで、第1水曜日、9時30分～15時30分でしたが、総会  
 後、平成22年4月からは、第4水曜日、10時～15時に変更しました。  
 設立時に、湘北社協から設立準備金の補助を受けました。床マット等の購入費用と  
 して使用しました。安全面が安心となりました。衛生面等対策に打ち合はし、  
 設立に関わりました 沢山の方々に感謝します。

なんでも？  
 スウィートポテト？なの～？  
 甘沼の甘いポテト  
 ポテト→おいも→芋づる式に  
 つながっていくネ！  
 子育て～

スタッフはどのようにして  
 集まったの???

お散歩の時(ワン!!)ウキウキ  
 顔見知り PTAや  
 声かけ合って誘い合って、  
 自分の子育てが「ホッ」と一息の  
 ママ達が集まりました。  
 まるで、同窓会のようなにぎわいです。

スタッフ石研修は？  
 どうしてまあか？

子育てベテランママでも、子育て加  
 初めてのメンバーです。私達で  
 だいじょうぶ？と不安な思いも  
 ありました。

- ・保育ボランティア研修
- ・湘北地区ボランティア養成講座
- ・子育て支援センタースタッフ交流
- ・子育てアドバイザー助言
- ・主任児童委員の関わり等々

学び合い交流を通して、  
 活動に深み、自信、見通し、  
 互助の気持ちが育ってきています。

### スウィートポテトの一日

★9時 スタッフ集合  
 ① 自治会館 清掃(床、HL等)  
 ・床マット等安全対策  
 ・遊具と並べる、ハセーガール組立  
 ～ちよと Tea Time. うさ台で～

★12時～13時  
 ④ ランチタイム  
 お弁当持参の親子スタッフで  
 一緒に食べます。

★10時 さあ～いら、しゃい  
 ② ・入口、親子で手の消毒  
 ・受付、親子の名前、住所、TEL記入  
 名札を着けます。  
 BGMは、  
 ③ 会員 50円支払います。(参加費はなし)  
 荷物 指定した場所に置きます。

★13時～14時50分  
 ⑤ さあ～いら、しゃい  
 ⑥ そしてお片づけ。

★11時50分 お片づけするよ～  
 ③ 親子とあそび スタッフとあそび、おとほしとあそび  
 子ども同窓会あそび おしゃべりある。ぬちやん

11時 and 14時  
 Tea Time -  
 おやつTime -  
 ちよとお楽しみのお  
 サラダだよ♡

♪ さよなら  
 ♪ あんこもち  
 ♪ またきなこ  
 ♪ 輪の中に入ろ。  
 ♪ 子どもたちダンス!  
 ♪ スタッフも踊る!  
 午前部終了

各種イベントも  
 実施  
 ・七夕会・ミニ運動会  
 ・夏まつり・クリスマス会  
 ・豆まき・子どもの日  
 ・お花見・ハロウィン

## 甘沼サロンの会

### 「住み良い地域づくり」

地域住民にオープンな語らいの場を提供し、「憩いの場」として楽しいひと時を過ごしてもらうことを目的とする。

平成 19 年 11 月 21 日 発足（満 4 年）  
月 2 回 第 2 金曜日、第 4 金曜日 午後 1 時～3 時  
甘沼自治会館

コーヒー、紅茶、抹茶 50 円

無料のお茶も用意しております。

（夏はアイスコーヒー、アイ스티ーもあります。）



12 月第 2 金曜日はクリスマス会、1 月第 4 金曜日はお楽しみ会です。

お子様連れの方から高齢の方まで、また、近隣地区の方も楽しみに来ていただいております。

語らいや団体の会議、手芸、小物作り、囲碁、将棋、オセロ、等を時間内に楽しんでおられます。

他の地域にはない「抹茶」を気軽に嗜んでいただけます。



## 《 す こ や か サ ロ ン 》

○ 主催：湘北地区社会福祉協議会 鶴が台評議員会

○ 歴史：

1. 鶴が台団地は1968年（昭和43年）に入居が始まり、翌年には老人会「鶴宝会」が発足した。
2. 1988年（昭和63年）に湘北地区社協が発足した時に鶴が台地域での身近な福祉活動をと鶴が台評議員会も発足をした。
3. 老人会員以外の高齢者の方たちも自由に参加できるよう、毎月第一木曜日に「お茶飲みとおしゃべりと楽しむ会」を鶴が台評議員会が主催して集会所の18畳の和室で始まった。
4. 和室では座卓と座布団を並べ、お茶、お菓子、漬物などを用意した。費用を作るために鶴が台団地夏祭りに福祉の店を出し、水飴せんべいを売った。
5. 集会所の和室では、座卓の並べ方をどう工夫しても増えてきた参加者が入りきらず、広い洋間に移りテーブルと椅子でのサロンとなり、足腰の弱くなってきた方々に好評であった。
6. 懐かしい歌謡曲・文部省唱歌・民謡を選んで、ワープロで打ち、手作りの歌集を印刷し、製本した。その後、希望の曲も増えて、現在は3冊（グリーン、ピンク、ホワイト）の歌集がある。
7. 1999年（平成11年）年鶴が台小学校多目的室での水曜サロンが始まり、2001年（平成13年）に介護保険が始まり、公団の高齢化対策として集会所にEラウンジが作られた。Eラウンジも月・火・木・金・土曜日に開かれるようになり、ミニディサービスの「すこやかサロン」は年4回開催となった。

○ 現在の活動状況：

1. 2月に甘酒のある「立春のつどい」、4月に桜の枝を飾る「お花見のつどい」、7月に青竹に七夕飾りを飾り、鶴が台保育園の年長組の子ども達との触れ合いの「七夕のつどい」、12月にお弁当やビンゴゲームで盛り上がる「年忘れのつどい」をしてきた。
2. 評議員8名とボランティアで準備会を開き計画を練って準備をして活動をして来た。昨年から途絶えていた老人会が「鶴寿会」として活発に活動を始めたことから、開催月や内容が重複することとならないように工夫することとなった。
3. 作品作りとして壁飾り、夫婦箸入れと箸置き、お雛様、五月節句の飾り、クリスマスの飾り、ウサギの置物などを作ってきた。
4. 出し物としてフラダンス、ギター演奏、青少年指導員による人形劇、手品など地域のボランティアに協力して頂いた。
5. 役立つ話として、介護保険、防災、防犯、転倒予防などについて、消費生活センター、保健所、市役所、包括支援センターから来て頂いた。
6. お知らせは団地内の掲示板18か所に貼りだすカラー印刷のポスター、全戸配布の「自治会だよりの声掛けを



# “わを 広げよう” たんぽぽの会

## ○設立と運営

地域では、杖を突かれリハビリを兼ね散歩をしている方々を多く見かけるようになっていました。高齢者の集まりは、かなり前から行われていましたが、そうした方々には中々、集いの場には出かけにくいものがありました。体が動かない、同じように動けない、言葉が出ない、落ち込みが激しく人前には出られない等等…、本人も家族もその抱える悩みは重く外に話せる場もありませんでした。

そこでそうした方々の場を作ろうと、鶴が台評議員会の中で話し合い、民生委員が誘いかけ、平成6年11月26日、病気や事故などで中途障害者になられた方とその家族の集いを初めて開催しました。

## ○開催日とスタッフ体制

始めた年は年1回の催しでした。2年目は2回となり、会を重ねるごとに参加者から、会の名前を付けようと不自由な自分たちの願いを込めて考えたのが「わを 広げよう”たんぽぽの会」です。3年目は3回、そしてみんなの希望から年4回の開催となりました。

評議員会では行事ごとに実行委員会を組む、実行委員は評議員のメンバーに+ボランティアが加わり8名で企画実行しています。

## ○分かり合える “くつろぎの場”

・参加されている方々の話で共通しているのは、思わぬアクシデントから立ち上がり外に気持ちが向くようになるのに10年近くかかったということです。

今は、おしゃべりにゲーム、歌、自分たちで作った楽器で演奏したり、時には、みなさんで昼食を囲み近況報告したり、またビンゴゲームで景品を用意したり、団地内を散策したりと 参加者のみなさんと和気あいあいと過ごしました。

最近ではデーサービスの日にちと重なって参加者が減少したり、雨の日は足元が悪いため開催中止になったり、参加者の呼びかけに一工夫が必要と考えています。



障害をお持ちの方もさまざまです。  
中途障害に限らず精神・知的など幅を  
広げ、いろいろな方々と一緒に 気軽に  
話し合える場所にしていきたいと思っ  
ています。

*たんぽぽの綿毛のように軽やかに…*

## 松風台地域のミニディサービス 「松の実会」

### ◇ 発足の経緯

まだ公的介護保険制度が整っていない平成5年5月に発足しました。

社会的にも人口の急速な高齢化率の進行、そして認知症（当時は痴呆症）高齢者の増加が問題となっているとき、湘北地区では平成元年に香川公民館で「ほのぼのクラブ」という高齢者のミニディサービスが民生委員により実施されました。松風台地域からの参加者も多く、認知症高齢者の御家族の方にも喜ばれていましたが、もっと身近な所で実施したいという要望があり、それぞれの地域で開催するようになって松風台では「松の実会」と称して月1回定期的に松風台自治会館で開催する運びとなりました。

発足当時は徘徊する高齢者が見られ、ボランティアが付き添って歩いたり、苦勞もありました。当地域住民への理解と協力が必要であり、松の実会の様子を「松の実会だより」として毎月手書きで発行し、回覧して周知に努めました。

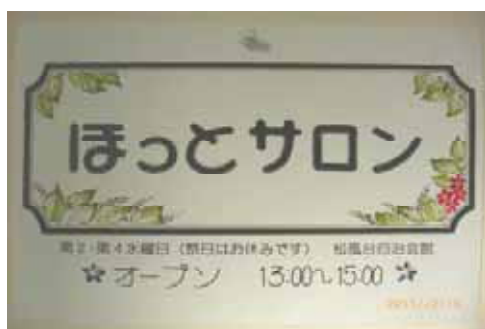
### ◇ 現在の活動状況

- 対象： 高齢化率の高い当地域では年齢を問わず、どなたでも参加可能
- 活動日： 毎月第3水曜日 10：00～14：00. ミーティング年4回
- 場所： 松風台自治会館 集会室
- 参加費： 500円（お弁当代）
- 送迎： 身障者の方は必要ならば送迎します。
- 内容： 発足当時の参加者で作詞・作曲した会の歌を歌っているのが特徴  
懐かしい歌、健康体操、お誕生会、ゲーム等のレクリエーション、  
クリスマス会、お正月のミニコンサート、等々
- ボランティア： 現在13名で、募集中です。



## 松風台社協 「ほっとサロン」

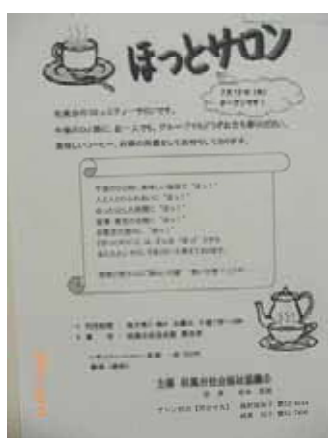
2004年（平成16年）、高齢化率の高い松風台の中に、「地域サロン」をと、松風台社協役員・民生委員ほか数名の理事で“サロン準備委員会”が立ち上がりました。



数回の準備委員会で、サロン開催日の時間・回数、サロン名・必要備品・地域への周知方法、サロンスタッフの募集について検討しました。

また、来られた方の相談にも応じられるように民生委員の方にスタッフに加わっていただきました。

サロンの準備については、地域サロンの先駆けである鶴が台団地の「水曜サロン」を何度か見学させていただき、雰囲気やテーブルの上に用意する物の工夫など、参考にさせていただきました。



今では大勢の人の声でにぎわっている「水曜サロン」も開いた当初は来客も少なく、スタッフの身内に声をかけたこともあったと聞き、活動していくことの難しさと続けていくことの大切さを感じると共に、身近な地域にだれでも立ち寄れる場所を作ることの必要性を痛感しました。

市社協の初期整備申請や備品購入の際には社協役員の方に助けていただきました。特にコーヒーカップは数軒のリサイクルショップを回り、白をベースにした良い品物を探しました。

「サロン」のプレートや各テーブルの砂糖入れは手作りで、花瓶は寄付でと、多くの方の協力をいただき、2005年7月13日（水）13時に松風台自治会館で手作りの地域の喫茶室「ほっとサロン」はオープンしました。

### ほっとサロン創刊号

オープン初日は、社協役員・サロンのスタッフで、接客マナーや飲みやすいコーヒーの濃さ、紅茶の美味しい入れ方などお客様に満足していただける味を研究しました。

オープン後もお茶の差し入れやテーブルのお花を頂いたり、地域の方に助けていただきながら、「ほっとサロン」も7年目を迎えました。

オープン当初の2005年度（7月から翌年3月まで）の利用者は138名でしたが、昨年2010年度は330名の利用がありました。

ごひいきにして頂いている常連さんのほか、自治会で、グループで、サークルの後にと、いろいろな方の利用があります。

現在、10名のスタッフで活動し8月・2月には部会懇談会を開いて、活動報告や次年度計画を話し合っています。

今後も気軽に利用していただける「地域のサロン」として活動していきたいと思っています。





## 「歌の街」

「歌の街」は松風台社協の部会が行っている“みんなで歌おう活動”です。毎月1回日曜日の午前に松風台自治会館の集会室で、歌唱リーダーの下で電子ピアノの伴奏に合わせて、懐かしい歌12曲程度を合唱しています。平成19年9月に発足して以来一度も休会せずに続いており、平成23年12月末で52回を数えました。その間の参加者は延べ1500人ほどで(毎回約30人)、重複して歌ったものも含めるとこれまで600曲近く合唱しました。歌った曲も童謡、唱歌、ホームソングから歌謡曲までの広いジャンルの中から選んで276曲になりますが、参加者のほとんどを占める60~70歳代の方々に合わせた選曲をしています。

大手デベロッパーによる住宅・宅地分譲で出現した1975年当時の松風台は子供たちの多い若々しい街でしたが、三十数年を経た今では市内有数の高齢化率の高い地域になりました。松風台社協ではこのような高齢化の到来を見据え、老化防止と健康維持のために、誰もが参加できる定期的な歌の集いを開いてはどうかということで、平成18年度から19年度にかけて色々検討しました。その結果、平成19年9月に歌の会をスタートさせることになり、同年11月からはこれを「歌の街」と呼ぶことにしました。

歌の得意な二人の民生委員・児童委員が歌唱指導の方を引き受けてくれることになり、色々なジャンルの曲の演奏で負担が大きいピアノ伴奏を引き受けてくれる方もなんとか二人決まり、さらに電子ピアノを寄贈して下さる方もおられ、こうして「歌の街」を始める条件が整いました。第1回目は多くの人に参加してもらうために、茅ヶ崎在住(当時)のギタリスト奥田紘正先生をお呼びしてクラシックギターの演奏をして頂き、その後で模造紙に達筆な毛筆で書かれた歌詞を見ながら、参加者全員で9曲を合唱したのが「歌の街」の始まりでした。これが4年4か月も続いているのは、懐かしい歌を合唱する楽しさと爽快感を実感されている参加者の方々の支持があるからだと思います。

「歌の街」は当初は松風台社協の直接事業として運営され、会場の準備・後片付けを松風台社協の役員が手伝い、会の進行は5名の女性ボランティア(歌唱指導2名、ピアノ伴奏2名、その他1名)で行って来ましたが、平成22年5月には松風台社協の一つの部会として独立し、歌の街に賛同した男性協力者も2人加わり、計7名のボランティアで運営しています。

今後も長く「歌の街」を続けて行くためには、歌唱指導やピアノ伴奏などを引き受けていただけるボランティア後継者が必要かと思われます。

### 「歌の街」の活動内容

内容	ピアノ伴奏で懐かしい歌を合唱する集い
日時	毎月第2日曜日 午前10時~11時15分
場所	松風台自治会館 集会室
その他	毎回自由参加。松風台以外の方の参加も可。 参加費 毎回100円

### 「歌の街」例会風景



## 松風台子育てサロン「まつぼっくり」

松風台社協として子育て世帯を応援したいとの熱意が実り、昨年十二月六日、子育てサロンが産声をあげました。次世代の松風台を担う子どもたちをイメージして、愛称は『まつぼっくり』です。どのくらいの需要があるものか、不安なままのスタートでしたが、初日には10人近い乳幼児が集まり、「松風台にこんなに赤ちゃんがいたなんて！」と利用者から嬉しい声も寄せられました。

原則として毎月第一・第三火曜日の10時から12時30分に、自治会館の集会室にて開設しています。利用料金は1回50円（保険料含む）です。

主に0歳から未就学の乳幼児とママに利用していただいておりますが、パパや祖父母の皆様がお子さんを連れて遊びに来て下さるのも歓迎しています。また、一緒に活動して下さるボランティアスタッフも募集しています。子どもたちの可愛い笑顔に癒される、地域交流の場の一つとして末長く活動していきたいと願っています。





## つるいち社会福祉協議会事業「ほほえみサロン」について

【ほほえみサロンとは】  
運営組織つるいち社協の直轄事業ミニデイサロン  
社協役員とボランティアで構成(10名)

毎月2回(第2・第4水曜日)  
自治会集会所にて開催  
《メニュー》  
コーヒー・紅茶 一杯50円  
緑茶 無料



### 【開設の経緯】

高齢化が進む中、年配者は気力・体力不足により引きこもりがちになります。

親しい人と楽しく会話する機会も薄れ、不本意な生活を送らざるを得なくなるのが現実です。

これを対処するため、自治会と連携を図り地域住民に語らいの場を提供し、

楽しいひと時を過ごしてもらいたいという願いから当事業を開設しました。

平成22年度より地域外の方も利用できるようになりました。

### 【活動状況】

- ・サロン活動のアピール…親睦の場所として、元気になる場として利用していただくよう声をかける
- ・料理教室…市の食生活改善専門家の指導による料理教室を行い食事会を行う
- ・勉強会…身近な話題をテーマとした講演会等を行う
- ・子供たちとの交流会…サロン開催日や夏休みに子供たちとカレー作りを行い交流を図る

### 【活動報告】

年度	売上(円)	利用者延人数(名)	活動回数(回)	備考
平成19年	24,100	381	17	H19.6.20スタート 180世帯中70歳以上115名(H19.5.1時点)
平成20年	35,900	399	24	
平成21年	50,450	526	24	
平成22年	53,798	503	24	104世帯中70歳以上92名



- ・カルタ遊び
- ・趣味
- 手芸(折紙、読書等)
- ・ボランティアとの会話

## カフェみずき

発足 平成21年9月24日  
活動日時 毎月第4木曜日 14:00~16:00  
活動場所 みずきコミュニティハウス1階(多目的室)  
参加費 100円 (コーヒー2杯) 緑茶は無料です。  
発足の経緯

平成20年度、自治会長の提案で中高年を対象とした親睦の場を作る計画が発足しました。まず平成21年春にボランティア参加者募集をし、応募者2名と心細いスタートでした。活動を共にしてくれる仲間を集め6月、7月と開店に向け準備、打ち合わせを重ね男性3名、女性8名のスタッフで9月24日開店となりました。

内 容 「皆様の親睦の場を提供し自らも交流を深め向上すること」を基本にし、懇談を主に年に数回イベントを企画、実行して楽しんでいます。

今では年齢、地域、性別、国別など制限はありません。

参加した皆さんの要望で終了前(閉店前)に歌を歌ってお別れをするようになりました。

開店日は「営業中」の旗が出ていますので気軽にお立ち寄りください。

また車いすの方も入室できますので是非お出かけください!

スタッフ一同心よりお待ちしております。



平成23年のクリスマスの様子です

# 子育てサロン

## 『みずきッズ』

目的: 地域で子育て中の親に子育ての悩みや不安を一人で抱え込まないように身近で気軽に利用できる「場」を提供し、地域でゆとりを持って育児を楽しめる環境作りを進めて行くことを目的とし親子の交流を図る場とする。

対象: 未就園児を持つ親子(生後3ヵ月より可)

場所: みずきコミュニティハウス

日時: 第2第4木曜日 10:00~12:30

参加費: 50円(保険料含む)

スタッフ: 9名

経緯: 平成21年2月より「きらきらぼし」小沢、佐々木様より指導あり

平成21年4月9日(木) 晴れ 第1回 開所 第2木曜日開催

アンケート調査・・・何で知りましたか・回数は・どのような名前が良いか・感想

平成22年2月18日(木) **子育てサロンの名称『みずきッズ』に決定**

参加者に候補名の中から決めてもらった

★平成21年度参加者数 子ども 213名 保護者 178名 延べ人数 391名

平成22年度 第2木曜日開催

みずき夏祭り出店 8月 (スーパーボールすくい・ジュース販売)

食育講座開催 10月 湘南東部総合病院 管理栄養士 服部千恵先生

★平成22年度参加者数 子ども 300名 保護者 289名 延べ人数 589名

みずき自治会に「ボランティア募集」のチラシ回覧依頼

平成23年度 第2第4木曜日開催

参加者数の増加と保護者の要望により月2回の開催とする

医学講座開催 9月 湘南東部総合病院 乳腺センター 井上寛子医師

「乳がん検診の必要性について」

育児講座 11月 湘南なでしこ保育園 園長 椎野由美様

クラフト作り 12月 松ぼっくりのツリー 制作

★23年度参加者数(12/22現在)子ども 283名 保護者 272名 延べ人数 555名





## Eラウンジ“シニアサロン”

### ○設立と運営

平成5年、鶴が台団地が高齢者指定団地となり、それに伴いURより団地第一集会所に高齢者の“いきいの場”として利用できるスペース「Eラウンジ」が常設されました。

開設にあたり自治会・老人会「鶴宝会」など関係者が準備会を作り、室内のレイアウト、利用方法等を話し合い、老人会が管理する形でスタートしました。当時は老人会役員が毎日詰め、年間を通し10時～5時頃までほとんど休みなく開かれ、お仲間がお茶や話など楽しみながら集う場所でした。

平成16年、老人会役員の高齢化や交代から運営について相談があり、結果、鶴が台評議員会・自治会・民生委員・ボランティアで「運営委員会」を作り、高齢者・障害のある方にも利用いただけるサロンとして「Eラウンジ“シニアサロン”」が再スタートしました(昨年、老人会「鶴寿会」が再結成され運営委員に加わりました)。

### ○開催日とスタッフ体制

自治会の広報紙でボランティアを募り、週5日間(月火木金土)10時～15時、各曜日毎のグループ当番制(スタッフ20人)で運営しています。曜日毎にスタッフが変わりますがそれも曜日毎の特色となり、意思疎通はスタッフ会議(隔月)と日誌で図っています。

### ○増える利用者、交流の場

当初、お茶のサービス、話し相手など準備は整いましたが、幾月もの間“待ち人來らず”の日が続きましたが、そんな折、コーヒー(有料)のサービスをきっかけに日を追うごとに利用する方が増して、中でも男性の多いことは訪れる方々が意外に思われるようです。

最初はテーブルを囲んでも知らない同士の人たちでしたが、顔を合わせるうちに会話もはずむようになり、交友関係も芽生えてきます。

サロンは、保育園が隣接しており、毎日子どもたちの元気な声を聞きながら、  
そして春には中庭の桜の花を愛でながら、ゆったりとした時間を過ごしています。

#### 各年度の開催数と利用状況

2005年度	229回	2,827人
2006年度	231回	3,732人
2007年度	227回	3,932人
2008年度	229回	4,419人
2009年度	228回	4,767人
2010年度	226回	4,610人



# ボランティア香川

## ■設立

平成7年の阪神淡路大震災の教訓を生かし、香川地区のボランティア有志が地域に密着した、みんなで支え合える仕組みを作ろうと立ち上げた会です。

## ■活動場所(拠点)

茅ヶ崎市香川5-4-24 コミュニティ香川B棟2階  
[香川駅前スーパークラウン香川店裏]



## ■活動内容

サロン	おしゃべりやカラオケ、ゲームとお茶でゆっくり過ごします。
ミニデイ	春秋の季節の良い時季には、お花見など公園や観光地へ外出。
	夏冬には拠点内でゲームやカラオケ、おしゃべり及びコーラスグループ等ボランティア団体の協力を得ながら、利用者共々楽しく過ごします。
家庭への支援	付き添い・車による送迎・見守り・食事のお手伝い・入院時の支援・通院の付き添い・その他
災害支援	利用者の方々の安否確認と連絡や防災訓練の実施

## ■活動日

- サロン; 毎月第1金曜日・第3月曜日
- ミニデイ; 第4水曜日

## ■活動時間

午前10時～午後3時

## ■連絡先



## 湘北とものわ

発足	平成7年6月
会員数	30人
活動日時	毎月第二金曜日 10:00～14:00 「集い」 「集い」の準備として毎月第一金曜日 10:00～12:00 「話し合い」
活動場所	香川公民館 和室、調理室、集会室(小)
活動内容	高齢の方、一人暮らしの方、中途障害の方など地域での交流が思うようにできなくなった方たちに月に一度公民館に集まっていた だき、ボランティアが作った手作りの昼食を一緒にいただきながら、 お話をしたり、ゲームや簡単な手作業をして楽しんでいます。
発足の経緯	湘北地区社協が平成2年から行っていた「痴呆老人を持つ家庭を支える会・ほのぼのクラブ」が平成6年より、自治会単位のミニデ イサービスに順次移行していった折、それまで「ほのぼのクラブ」 に参加していた認知症の方が受け入れてもらえなくなったため、 「ほのぼのクラブ」で活動していたボランティアの中から有志が集 まり、誰もが参加できる会を発足させました。
会の進め方	会員30人の内、お世話する側は20人程です。その20人が2班に 分かれて、毎月、お料理とミニデイサービスの役を交替でやってい ます。
費用	会費 100円/月 (年間 1,200円) 参加費 500円/回
参加者数	平均23人(平成22年度)



## ひまわりの会「水曜サロン」

### ○設立と運営

平成11年、鶴が台小学校に多目的室(2教室)が地域に開放されたのを機に、有志が集まりその利用について相談し、翌年3月、毎週水曜日のサロンということで「水曜サロン」がはじまりました。その頃は、「福祉＝老人」と思われ、誰もが利用できる場の提供型サロンが利用登録に認められるだろうかという杞憂を感じたものです。

4人の有志でそれぞれが持ち寄り、場所の利用料等が掛からないことから、おかげさまでこの補助も受けず、地域のどなたもが自由に過ごす憩いと交流の場として「50円コーヒー」の売上のみで現在まで10年を超え運営しています。水曜サロンが松風台へと続き、湘北地区のコミュニティサロンの始まりとなりました。

### ○開催日とスタッフ体制

毎週水曜日10時～14時、祭日、官公庁と同じ年末年始の休みで始まりました。毎回の設営に1時間近くかかる中で男性も加わり、スタッフも徐々に増え10人で“コーヒーの味と花・雰囲気づくり”にこだわり運営をしています。スタッフは手弁当で和気あいあい楽しくボランティアをしています。



### ○分かち合う交流の場

このような場はこれまでなく、半年近く利用者もスタッフの友人、話もマンツーマン、じっと辛抱の毎日でした。やがて利用も増え始め、鶴宝会の会長さんたちが私たちの意気を感じ、Eラウンジに行く前に立ち寄り励まして下さり、ソファに腰かけコーヒーを味わっていた90歳を超えた小さなお姿も懐かしい思い出です。いらした方の話し相手、特に男性は同じテーブルでも最初は会話にならず和を繋ぐのにスタッフも苦勞しました。今は10数人の男性グループとなり、おしゃべりしたりメール交換したりで互いの消息を気遣ったりしています。おしゃべりや折り紙など何時の間にかそれぞれが好きなことで過ごすことが定着し、新しい方にもテーブルの方々も気遣い打ち解けて過ごすようになりました。

#### 各年度の開催数と利用状況

平成13年度	53回	764人
平成14年度	51回	1351人
平成15年度	45回	1836人
平成16年度	43回	1357人
平成17年度	50回	1490人
平成18年度	42回	1417人
平成19年度	49回	1716人
平成20年度	50回	1957人
平成21年度	37回	1840人
平成22年度	47回	1749人

小学校の中にあることから生徒の発表の場にと、先日も4年生が元気に歌を披露下さり、喝采をもらいました。

雨風、天気に関係なく毎回40人を超える利用と感謝に冥利を感じるこの頃です。

長い間やっていると壁にぶつかります。それはスタッフの高齢化・健康であったり、利用者の健康・自然減です。しかしそれは、友は友を呼び何時の間にか解消されてきました。みなさんの感謝を喜びと感じ、誠心誠意接するスタッフの姿から解決されてきたのだと、今は確信しています。

## 子育て支援ボランティアグループ きらきらぼし

活動日時 毎月曜日 10時から14時  
(祝祭日、年末年始除く)

活動場所 鶴が台小学校 多目的室  
ボランティア 9名

設立 平成10年12月



地域に住む母が子育てに行き詰った事件を、新聞記事で知り衝撃を受けました。そのことが、子育て中の親たちをサポートしていく「場」を作るきっかけになりました。子育て経験のある私たちも、不安やイライラを一度は持ちながら子育てをしてきました。そんな時に、身近な子育て中の母たちとお喋りするだけで、毎日の子育ての大変さも軽減されたことが浮かんできました。

14年前に子育ての居場所を提案した時は、「自分たちは、ひとりで子育てをした」と、多くの方から言われ「子育てに支援は？」と、疑問を持たれた方が多くいました。現在は、少子化の影響もあり「子そだて応援団」の必要性が言われるようになりました。14年前に、疑問を持たれながらも「子育てサロン」を立ちあげ継続し、「子育ての居場所＝きらきらぼし」を開催してきたことが、地域の中に定着しつつあります。

親たちの「たまり場」があれば子育てが楽しく思えるのではないかと、「母と子が、きらきらと輝いていられるように、祈りを込めて、きらきらぼし」その思いを感じながら、地域に住む者として「母と子の居場所」を当時の主任児童委員の方と立ち上げました。

ボランティア活動をしていくためには、人・場・資金が、必要ですが、小さい子は部屋を汚すから等の理由でなかなか「場所」を見つけることができませんでした。主任児童委員のお力添えて、鶴が台団地集会所を借りられることになり、知人・友人に声掛けをして何人もの人たちがボランティアとして参加してくださいました。集会所の使用料は、主任児童委員の活動費の一部を充ててくださいました。が、問題点も多くあり課題を持ちながら、平成10年12月に第1回の「きらきらぼし」を開催したことを思い出します。**その後、小学校の多目的室を使用できるようになりました。湖北地区社会福祉協議会で福祉活動を積極的に考え、学校・市等の機関と多くの話し合いを重ね、福祉活動に特化し学校施設の一部を借りることができるようになったのは、地区社協のご尽力のおかげだと思っています。学校の多目的室利用は、母たちには学校へのハードルが低くなった場所になったことも感じられます。**

きらきらぼしの活動の目的は、①親も子もくつろげる場、②情報交換の場、③異なる年齢の子どもたちの交流ができる場、④地域の色々な人と知りあえる場の4つの場づくりです。

「きらきらぼし」で、お母さんたちはお互いの子育ての悩みや不安を話したり聞いたり、よその子の腕白ぶりを見たりして、**うちの子だけが大変なのではないと安心したり**、地域の子育て情報を得たり等して時間を過ごしています。ホッとできることで次へ進める、のんびりできることで頑張る力が湧いてくる、悩みを話すことで親しくなれるのだと思います。その場が「きらきらぼし」。

14年の活動で、きらきらぼしに来ていた子が、ユースボランティアやその他の活動に参加され、



地域のつながりができはじめ、きらきらぼしを続けてきた意義が見え出してきました。





## 湘北ボランティアセンター コミュニティーサロン

コミュニティーサロンは湘北ボランティアセンターの生活支援、敬愛訪問、ほっとラインに続いて、H22年7月2日（金）に地域の“ふれあいの場”として活動が開始されました。

オープンして1年半を迎えます。地域、年齢に関係なく何方でも参加出来ます。2時間という限られた時間内でおしゃべりの花が咲き、笑いが絶えず、また、童謡から演歌と昔をなつかしんでの歌も、日常ではなかなか大きな声を出すことも少ない中、表情も豊かに瞳も輝きます。

1周年記念、クリスマス、新年には特別メニューなど、楽しい一日になるよう考えています。

楽しかった！また来るよ！の言葉に喜びを感じ、よかった！と思う瞬間です。

- 場所 ボランティアセンター内
- 月1回、第1金曜日 午後1：00～3：00
- メニューおよび料金 珈琲 50 円、紅茶 50 円、お茶無料  
ミルク、砂糖、茶菓子



# 湘北地区ボランティアセンター

平成15年9月に開所し、湘北地区の皆さんがより暮らしやすくするために、高齢者や障害者・病気がちな方等の生活支援（家事援助・買い物・草取り・低木の刈り込みなど）や、一人暮らしの方の話し相手、お元気ですかコール？（電話による定期安否確認）等の活動をおこなっています。ご自身やご家族、近所の友人の方等でお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

また、一緒に活動して下さるボランティアも募集中です。お気軽にお問い合わせください。

湘北地区ボランティアセンター



あなたの**力**が必要です！

## ボランティア募集中！



受付：月・木曜日 10時～12時  
その他の日は留守番電話・FAXで受付して、後日ご連絡いたします。  
電話・FAX：27-2030  
住所：香川2-18-17

## 福祉なんでも相談窓口

茅ヶ崎市地域福祉コーディネーター  
配置モデル事業

平成23年2月から、湘北地区ボランティアセンターに、**相談窓口**をおき、どこに相談したらいいかわからないことや、日常の心配ごとなどの相談をお受けしています。毎月第1火曜日と湘北地区ボランティアセンターの受付日に相談をお受けしています。

茅ヶ崎市社会福祉協議会、福祉相談室あかね（地域包括支援センターあかね内）と連携して、ご希望のサービスを探したり、支援を考えます。ご相談お待ちしております。

★ ★あなたが求める支援を一緒に探します ★ ★

生活していて困ったときや悩んだときは…

ボランティアセンター (27) 2030 茅ヶ崎市社会福祉協議会 (85) 9650  
福祉相談室あかね (51) 0015 地域包括支援センターあかね (55) 1535  
まで、お電話ください